

# SWOT分析

## S (strength) : 強み

- ・担い手の層は厚い(特に中堅層)(演劇)
- ・団体数、公演数が多い(演劇)
- ・家賃が安いこと
- ・ロケのオファーが多い(自然 + 都市)
- ・メディアアートの作品が多い
- ・文化活動は多彩
- ・活動のレベルが高い(邦楽)
- ・活動が自由(各流派の合同など)
- ・動員力がある
- ・過去の資料がある
- ・著名人が多い
- ・世界的なイベントが定着
- ・創造意欲が高い
- ・施設数が多い
- ・敷地が広く、周辺環境と調和
- ・才能のある人は(そこそこ)いる
- ・賞を取る率は札幌出身の人が多
- ・(映画など)一通りのものが見れる
- ・潜在的なクリエイターは多い
- ・短編映画に強い
- ・冬が長い
- ・人が動く 周辺に影響を及ぼす

## W (weakness) : 弱み

- ・独自性が弱い(東京と近い)
- ・招へい費がかかる
- ・若手の学ぶ姿勢が弱い
- ・競争があまりない 上昇志向が欠けている
- ・企業の支援が弱い(支店経済)
- ・プロデューサーがいない(アートマネージャー)
- ・常設のホールがない
- ・学校での取り組みが弱い
- ・独自企画が少ない
- ・優秀な指導者が少ない
- ・マーケティングや広報の専門家がい
- ・東京からプロが仕事に来る
- ・人が動く
- ・デザイン産業が成熟していない
- ・才能ある人を発掘する力が弱い(人材育成のシステム)
- ・札幌でプロとして活動できない 東京へ

## O (opportunity) : 機会

- ・人との関係が近い(都市の規模)
- ・個人主義的な気風
- ・新しいものが好き
- ・行政が文化に力を入れている
- ・2011年にイベントが多いこと
- ・アートセンターの設立
- ・札幌が持つ人を引き付ける魅力(外部から)
- ・200万人以上の人口を抱えている
- ・文化事業に対する反対運動がない
- ・異ジャンルとジョイントしやすい
- ・ネットワーク化しやすい
- ・中規模都市の時代が来ている
- ・税制上優遇措置が増えてきた

## T (threat) : 脅威

- ・物事を作る上で基盤や雛型がない
- ・根気がない
- ・ゼロから作り上げるので効率が悪い
- ・景気の悪さ
- ・成功事例(モデルケース)が身近にない(東京と大阪以外)
- ・プロが成り立つ基盤が弱い(全く進む道がない訳ではない)
- ・平等に支援するということ
- ・人材が流出する
- ・情報を総括する機能(広報機能)が弱い
- ・文化芸術を欲していないのではないか?
- ・文化芸術の判断基準があいまい
- ・予算が削減されている
- ・ミュージアムリテラシーが定着していない(アトリテラシー)
- ・作り手と受け手のバランスが悪い
- ・観客層が広がっていない
- ・行政が施策を打ち出していない
- ・企画活動と組みづらい(演劇)
- ・芸術が産業化されづらいと思われる
- ・様々な情報が結びついていない